



検査かわら版

特集～便中カルプロテクチン検査について～

臨床検査技師長の挨拶・新入職員の紹介

発行：佐賀大学医学部
附属病院 検査部
責任者：末岡榮三朗
佐賀市鍋島5-1-1

令和5年度より就任

臨床検査技師長の挨拶



今年度から臨床検査技師長に就任いたしました
於保(おほ)恵と申します。

当院検査部は1981年の開院当初から24時間体制での検査を
確立し、検査業務の自動化や総合感染症コントロールシステム
(Dr.FLEMING)の開発をおこなってまいりました。

病院理念である『患者・医療人に選ばれる病院を目指して』
のもと、日々迅速かつ正確で信頼性の高い検査データを
臨床へ提供することに取り組んでおります。

各診療科に報告される検査結果は、病気の診断や治療方針に
大きな影響をもたらします。より正確な検査値を報告するため、
2018年に臨床検査室の国際規格である『ISO15189』を取得
いたしました。現在は検査の標準化を行い、検査の質の向上
と業務の効率化を図っております。今後も大学病院として
高度先進医療への取り組み、地域医療への貢献、教育や研究
に邁進していく所存です。

スタッフ一同、自己研鑽を積み、臨床に貢献できるよう
日々精進してまいります。皆様からのご指導・ご鞭撻のほど
何卒宜しくお願い申し上げます。

便中カルプロテクチン検査をご存じでしょうか。



腹痛や下痢など、おなかの不調が続くということはありませんか？
もしかしたら腸に炎症が起きているかも・・・？
その場合は、以下の病気の可能性が考えられます。

一般的に潰瘍性大腸炎やクローン病のことを言います

炎症性腸疾患 (IBD: Inflammatory Bowel Disease)

腸に炎症が起きる原因不明の病気で腹痛、下痢、血便、体重減少などの症状がみられるのが特徴です。病状が悪い時期と落ち着いている時期を繰り返し長期的な治療が必要となります。内視鏡検査を実施することにより診断され、10歳代後半から30歳代前半の若い世代に発症することが多く、近年患者さんが増えてきています。

便中カルプロテクチンってどんな検査？

腸に炎症があるかどうかを調べる検査です。

ご自宅等で便を専用容器に採取してから病院に持参し、臨床検査技師が検査を行います。

腸に炎症が起こると、腸を守るためにカルプロテクチンというタンパク質が好中球(白血球の一つ)より大量に放出されます。そのため、便に含まれるカルプロテクチン量を測定することで、腸に炎症があるかどうかを調べることができます。



専用容器

2023年9月より院内での便中カルプロテクチン検査を開始しました！
これまでは外注委託検査のため、結果報告に数日要していましたが、
現在は当日中に結果報告をすることが可能となりました。

便中カルプロテクチン検査は、どんなときに実施する？

【腸疾患の診断がされていない方で、3カ月以上腹痛や下痢の症状が続く方】

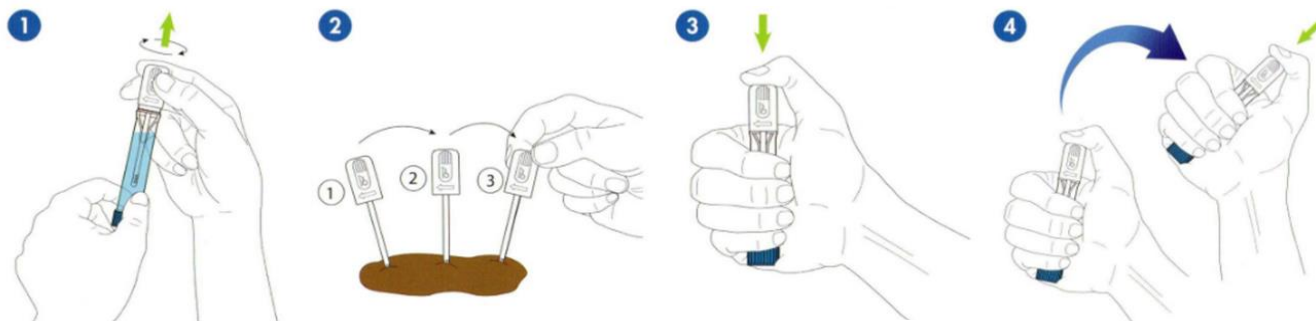
この検査は内視鏡検査が必要かどうかの目安となり、補助検査として有用です。便中カルプロテクチン検査値が50mg/kgを超えた場合、腸に炎症が起こっている可能性があるため、確定診断として内視鏡検査を行います。

【炎症性腸疾患と診断されている方】

定期的に便中カルプロテクチン検査を行い、繰り返し腸に炎症が起こっていないかの再発確認に役立ちます。

検査を行うための便の採取方法は？

まずは、トレイに採使用シート等を置いて、排便して下さい



白いキャップを

回して外してください。

スティックの先に便を穿刺し、

3～5カ所から便を採取して下さい。
溝に便が完全に満たされているか
確認してください。

スティックを容器に挿入し

しっかりと押し込んで下さい。
※2回カチッといえはOKです

キャップが閉まったら

よく転倒混和してください。

⚠ 便を採る際にご注意していただきたいこと

- ☑ 容器は冷蔵保管してください。
- ☑ 採便はできる限り通院当日にお願いします。
- ☑ 採便後は、冷蔵保存をしてください。
- ☑ 月経期間中及び注腸・座薬使用后 1～2 時間程度は採便を控えてください。
- ☑ 採便の際に、容器に便器の水が入らないようにご注意ください。
- ☑ 便が乾くと正確な値が出ないので、採便後速やかに容器を密閉してください。

【参考資料】

サーモフィッシャー「便中カルプロテクチンってなんだろう」

モチダ製薬株式会社「カルプロテクチン POCTモチダを使用される患者様へ」

※許可をいただき画像を掲載しております

新入職員の紹介

🌸 江口 碧 (生理機能検査室)

みなさまが気持ちよく検査を終えられるよう頑張ります。

見かけによらず、話すことが大好きです！

気軽に話しかけてください！



🌸 仲 悠 (生理機能検査室)

経験は浅いですが、患者さんに安心して検査を受けてもらえるよう一生懸命頑張りますので、皆さんよろしくお願いたします。

🌸 南里 享奈 (生理機能検査室)

主に心臓の超音波検査を行っています。沢山の資格を取得できるよう勉強していきます。頑張りますのでよろしくお願いたします。

🌸 熊野 勝斗 (生化学検査室)

日々学びの連続でこの環境で働けていることに感謝しています。

学んだことを患者さんや病院に貢献できるよう頑張ります。

🌸 政田 澪花 (輸血検査室)

専門知識と技術を習得し少しでも早く患者さんや病院に貢献したいと

考えています。これから日々精進していきますのでよろしくお願いたします。

🌸 森 天海 (微生物検査室)

病院に貢献できるよう、一生懸命頑張ります。

よろしくお願いたします！



～編集後記～

今回は便中カルプロテクチン検査を特集しました。便中カルプロテクチンは炎症性腸疾患の補助検査です。便中カルプロテクチン検査は身体的な負担がなく、また腸の炎症を客観的に評価できる検査ですので、お子さんや妊婦さんも安心して検査を受けていただけます。